

あかね会新年会の開催

1月20日(土)の12時から八王子エルシーで、令和6年のあかね会新年会が開催されました。

あかね会の活動は母校の支援のほか、会員の親睦を深めるため、5月の定期総会のほか新年会を開催しています。



これまで新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を計画し通知を出すなどしましたが、過去3年は中止となりました。今回の開催は実に4年ぶりとなりました。そのような影響からか、今回の参加者は20人と少なめでしたが、和気あいあいとした新年会となりました。

進行は入沢修自副会長(平成5年卒業)が行い、最初に浜中賢司会長(昭和44年卒業)から挨拶がありました。4年ぶりの開催で参加者が少なめだが、



今後は盛り立てていきたい、学校の支援は継続して行う、翌日の市長選挙のため途中で中座するとの話がありました。来賓で挨拶に見えた母校の桂優子副校長先生からは、日頃からの学校・生徒への支援の御礼、今年卒業の9期生が国公立大学受験などで努力していること、9期生が150人あかね会に入会の予定であること、今後も学校・生徒の支援をいただき学校運営・教育を充実させていくと決

意が述べられました。

次に、黒須隆一顧問(昭和35年卒業)が挨拶に立ち、昨年は台湾を7回訪問し、秋には台湾大学、高雄大学で講演をされたと報告があり、その後乾杯の発声にぎやかに行われ、懇親に入りました。



1時間を過ぎた頃、新春インタビューと称して、参加者からひと言をいただき、それぞれの近況や今年の抱負などが語られました。シンガーソングライターのSIO小塩晶人さん(昭和62年卒業)が参加されていて、持参のギター片手に歌を披露してくれました。新曲「プレシヤス」を歌い、次いで「風に乗って」を参加者の手拍子と共に歌われ、拍手喝采となりました。SIOさんから、6月9日に日野市民会館(ひの煉瓦ホール)で僕らの町コンサートを開催すると発表されました。

次に、SIOさん、田中ミホさん(昭和35年卒業)の音頭で校歌斉唱となり、結びに小山隆司さん(昭和36年卒業)から閉会の言葉が述べられ、解散となりました。

